

## 第3学年 体 育（運動領域）

### 第3学年の学習到達目標

- (1) 活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きや技能を身に付け、体力を養う。
- (2) 協力・公正などの態度を育てるとともに、健康・安全に留意し、最後まで努力して運動をする態度を育てる。

### 第3学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容(詳しくは、「わたしたちの体育」をご覧ください。)
	新体力テスト	● 自分の体力を知る。	○ 50m走, 握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横跳び, 20mシャトルラン, 立ち幅跳び, ソフトボール投げ
前期	体ほぐしの運動	● 体ほぐしをして, 心と体の変化に気付いたり, 体の調子を整えたりする。	活動 友だちと体ほぐしをする。
	かけっこ・リレー ※	● 練習や競走の仕方をくふうして, かけっこやリレーをする。	活動① いろいろなかけっこやリレーをする。 活動② ルールをくふうして, リレーをする。
	レッツダンス! ※	● 友だちと楽しく, リズムに乗って, 全身で踊る。	活動① リズムに乗って, 自由に踊る。 活動② 友だちと動き方を工夫して, 全身で踊る。
	はばとび	● 練習や競争の仕方をくふうして, 短い助走からふみ切つてとぶ。	活動① いろいろな場で, 幅跳びをする。 活動② 場を選んで, 友だちと競争する。
	浮く・泳ぐ運動	● いろいろな浮き方や泳ぎ方をする。	活動① 用具を使って, 浮いたり泳いだりしてみる。 活動② 面かぶりクロールや, 面かぶり平泳ぎをする。
	からだで絵日記	● 友だちと仲よく, 生活のようすや場面の持ちようをとらえて, おどる。	活動① イメージをふくらませて, 思いつくままに踊る。 活動② 表したい場面の動き方を, 友だちと工夫して踊る。
後期	小型ハードル走	● 練習や競走の仕方をくふうして, 小型ハードル走をする。	活動① 自分に合ったインターバルを見つけ, 調子よく走り越える。 活動② 自分に合ったインターバルや小型ハードルを選んで, 友達と競走をする。
	鉄棒運動	● 練習の仕方をくふうして, 鉄棒運動をする。	活動① いろいろな技ができるようになる。 活動② 技を繰り返したり, 組み合わせをしたりする。
	タグラグビー	● 友だちと仲よく, タグラグビーをする。	活動① ゲームの仕方を知り, タグラグビーをする。 活動② ルールや作戦を工夫して, タグラグビーをする。
	ラインサッカー	● 友だちと仲よく, ラインサッカーをする。	活動① ゲームの仕方を知り, ラインサッカーをする。 活動② ルールや作戦を工夫して, ラインサッカーをする。
	マット運動	● 練習の仕方をくふうして, マット跳び箱運動をする。	活動① いろいろな技ができるようになる。 活動② 場を選んで, 新しい技に取り組む。
	跳び箱運動	● 練習の仕方をくふうして, 跳び箱運動をする。	活動① いろいろな技ができるようになる。 活動② 場を選んで, 新しい技に取り組む。
	用具をつかった運動	● 友だちと仲よく, 用具を使った運動をする。	活動① いろいろな用具を使った運動をする。 活動② 友達と一緒に, 用具を使った運動をする。
	動きをつくる運動	● 友だちと仲よく, 動きをつくる運動をする。	活動① いろいろな動きをつくる運動をする。 活動② 友達と一緒に, 動きをつくる運動をする。
	ハンドベースボール	● 友だちと仲よく, ハンドベースボールをする。	活動① ゲームの仕方を知り, ハンドベースボールをする。 活動② ルールや作戦を工夫して, ハンドベースボールをする。
随時	集団行動	● 4列縦隊の集まり方と並び方や行進ができるようになる。	○ 気をつけ, 休め, 4列縦隊の行進, 止まり方

※ 運動会種目関連単元

## 評価の観点・方法

<p>(1) <b>運動領域での評価の観点</b></p> <p>児童の発達段階に応じて、学習内容に明確にし、いろいろな運動の楽しさや喜びを味わうことができるようするとともに、学習内容の確実な定着を図るために運動を一層弾力的に取り上げて行います。そして、学習したことを家庭などで生かすために、「体づくり運動」の一層の充実を図るために、次の3観点から観点別学習状況の評価を行います。</p> <p><b>【運動や健康・安全への関心・意欲・態度】</b> 約束やきまりを守り、互いに協力し、健康・安全に留意して最後まで楽しく運動をしようとする。</p> <p><b>【運動や健康・安全についての思考・判断】</b> 各種の運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。</p> <p><b>【運動の技能】</b> 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けている。</p>	<p>(2) <b>評価の方法</b></p> <p>① <b>多面的な評価</b> 日常の学習の様子だけでなく、学習カード、自己評価カード、実技など様々な面から評価します。</p> <p>② <b>学習中における評価</b> 自分なりに見通しを立てながら積極的に課題解決をする態度や、児童による自己評価を大切に評価します。</p> <p><b>【運動への関心・意欲・態度】</b> 主に児童による自己評価や準備片付け、学習全般の行動観察などで評価します。</p> <p><b>【運動についての思考・判断】</b> 主に学習の計画や練習の工夫などの行動観察、児童の感想（発言・聞き取り）、教科書を活用した自己分析などで評価します。</p> <p><b>【運動の技能】</b> 主に学習記録における自己評価や技能テスト、発表会などの行動記録で評価します。</p>
---	--

## 特色ある学習方法

<p>子どもたちが生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフの実現や自分の健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育て、楽しく明るい生活を営むことができるようになることをめざしています。</p> <p>(1) 新学習指導要領のねらいに基づいて、以下の点を大切に学習に取り組みます。 「生涯にわたって運動を親しむ資質や能力の育成」、「指導内容の確実な定着」、「体力の向上の重視」</p> <p>(2) 各単元のねらいを達成するために学習の流れを「単元全体を通してのねらい」→「やってみよう(基礎・基本)」→「活動①(習得)」→「活動②(発展)」→「まとめ」として取り組みます。</p> <p>(3) 体力の向上を目指した運動を毎時間取り入れ、バランスのとれた体づくりをします。</p> <p>(4) 学習効果を上げるために、学習の場の設定を工夫し運動量の確保に努めます。</p> <p>(5) 積極的にグループ学習を取り入れ、コミュニケーションを重視した学習を行います。</p>
---

## 使用教材等

<p>○ わたしたちの体育、体操服、赤白帽子、水着、水泳帽、跳び縄、運動に適した靴など</p> <p>○ なわとび、マット、鉄棒、跳び箱、ラグビーボール、サッカーボールなど</p>
--

## 留意事項

<p>(1) 運動ができる、できないというとらえ方よりも、一人一人目標を持ってどれだけ達成できたかで、がんばりを賞讃してやるのが大切です。</p> <p>(2) 学習を効果的に進めるために、学習環境を整えるなど事故の防止に十分留意します。</p> <p>(3) 安全に学習を進めるために、爪の長い児童は切ってください。また、髪の毛の長い児童はゴムで結びます。ピン等は使用しません。</p> <p>(4) 見学の場合は、見学理由を書いた連絡帳を担任に見せるようにします。保護者の方は、連絡帳に見学理由を書いてくださるようお願いいたします。</p> <p>(5) 食事・睡眠など基本的な生活習慣を身につけ、規則正しい生活リズム、よく体を動かす生活をいっしょに作っていきましょう。</p> <p>(6) 「わたしたちの体育」をごらんになって、家庭でもできるボール遊びや縄跳び遊びなど、親子で一緒にやる時間を持ってみてください。親子の触れ合いにもなり、楽しみながら技能面の向上にもつながると思います。</p>
--